

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎ 045-476-0777
平成12年3月1日発行
季刊第32号
www.kitamura.co.jp

カメラの
キタムラ®

vol.32
SPRING

特集 写真家・三好和義氏

屋久島という最高の被写体を、
今、望むことのできる最高の技術で伝えたい。

路上観察紀行「奥の細道」ウォッチング

第2回 藤森 照信氏

保存版 中判カメラの魅力を探る

薄日で半逆光で撮ると桜が輝いてきれいだ。もちろんレンズはフードで光をカットしている。奥行きが出るように空を入れて構図を決めた。あたたかく気持ちのいい日だった。
■カメラ：リホフマスターテヒニカ4X5 レンズ：400mm 絞り：f22 1/2 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：プロビア 撮影地：岐阜県池田町霞間ヶ溪 〈撮影〉三好和義氏



フォトライフ
四季

CONTENTS
Vol. 32
SPRING



雨の中で撮影。下草がしっとり濡れて黒っぽくなり、繊細で淡い花の色を引き立てている。
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：400mm
絞り：f32 1/2 シャッタースピード：1/2秒 フィルム：プロビア 撮影地：山梨県富士吉田市中野茶屋の富士桜

特集 写真家・三好和義氏

屋久島という最高の被写体を、
今、望むことのできる最高の技術で伝えたい。..... 2

キタムラがお薦めする「春の花」撮影ポイント 10

路上観察紀行「奥の細道」ウォッチング 第2回

藤森 照信氏 12

ぶらりわが街
東京都羽村市 富島和子さん 18

保存版 中判カメラの魅力を探る 25

全国写真クラブ紹介 30

次ページ(P2・3)の写真解説
龍のようにうねる迫力のある様。こちらも負けないように、
気持ちを高めて正面から望遠レンズで切りとった。
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：400mm
絞り：f22 1/2 シャッタースピード：1秒 フィルム：ヘルビ
ア 撮影地：岐阜県宮村の臥龍桜 (撮影) 三好和義氏

第8回「全国秋の彩フォトコンテスト」入賞作品発表 22
キタムラインフォメーション 32
プレゼントが当たる! クロスワードパズル 32
編集後記 32

MINOLTA



私と歩くケータイカメラ。



ケータイカメラはここがいい。
その① 厚さ28.5mmの薄型アルミボディは、手にしっくり。
ポケットにスッポリ。
その② 3点マルチビームAFだから、ピントの合う範囲が広く、
二人並んで撮ってもピントバッチリ。
その③ 夜景ポートレートモード、遠景・夜景モード、
クローズアップ機能など、うれしい機能がぎっしり。

2倍ズームの小型APSコンパクト **NEW**
VECTIS 2000

希望小売価格(税別)
ベクトリス2000..... ¥44,000 (ケース・リモコン付)



屋久島という最高の被写体を、 今、望むことのできる 最高の技術で伝えたい。

カメラのキタムラが「春の花フォトコンテスト」の審査をお願いしている三好和義先生は、昨年、東京の銀座ミキモトホールで最先端のデジタル技術を駆使した『和の楽園 日本の宿』という作品展を発表されました。また、このほど長年撮り続けてきた屋久島の作品集を出版、この写真集はこれまでの写真集とは内容や装丁でまったく違うものになるという話もうかがいました。キタムラではさっそく先生の事務所におじゃまして、屋久島の写真集がどのように新しいのか、また、最先端のデジタル技術を、ご自分の写真表現にどのように活用されているのかという話をうかがいました。数千年前の自然を残す屋久島の森を愛し、その一方で現代の最先端技術を取り入れている三好先生の、その旺盛な活動の一端を、読者の皆さんにご紹介したいと思います。

また、今回の「第8回春の花フォトコンテスト」に応募される方々へのご希望やアドバイスも、うかがってきましたので、参考にさせていただければ幸いです。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて三好先生の作品です。

特集 写真家 三好和義氏



みよし かつよし
1958年徳島生まれ。東海大学文学部卒業。86年木村伊兵衛賞を最年少で受賞。写真集は「タビチ伝説の楽園」美しい日本の四季「ほくのふるさと阿波吉野川」ユネスコの依頼で撮りおろした「日本の世界遺産」以上小学館など多数。最新刊は『和の楽園 日本の宿』(小学館)。2000年4月末に「楽園の遺産」屋久島(仮称)を小学館より発売予定。また、東京、鹿児島、大阪、フランス、アメリカ、イスラエルで屋久島の大がかりな写真展を開催予定。
■写真展開催スケジュール
東京展・2000年4月28日～5月6日(銀座和光ホール)
鹿児島展(予定)・2000年5月9日～5月21日(黎明館)
大阪展・2000年7月26日～8月1日(大阪梅田阪急百貨店)

私には屋久島の森の風景が、
美術品に見えるのです。

先生が屋久島の森を撮り続けていらっしゃることは以前よりおうかがいしていたのですが、いよいよその作品集を発表されるそうです。

屋久島は91年から撮っていますので、

もう10年近く撮り続けています。今年是世界遺産会議が屋久島で開催されるのですが、それに合わせて撮りためた作品をまとめて、写真集を出版することになりました。

先生は以前から「楽園」というテーマを追求されていますが、屋久島の場合、どのようなところに「楽園」を感じられたのですか？

屋久島の景色というのは、カメラのレンズを向けて構図で切り取ってみると、美術品のように見えてくるんです。まるで屏風絵のように見えたり、京都の庭のように見えてきます。そうした美しい風景に囲まれていると、私にはここが「楽園」のように思えてくるのです。

景色がですか？

まさに庭園のような風景が広がる。盆栽のような樹だが、千年を越えている。

■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4X5 レンズ：150mm 絞り：f32 シャッタースピード：4秒 フィルム：ベルビア
撮影地：鹿児島県屋久島小湊之江河の高層湿原



そうです。屋久島の風景が、まるで屏風絵のように見えたり、京都の庭のように見えてきます。むしろ、これは屋久島に限らず、他の場所でも体験できることなのですが、屋久島の場合は人の手が加わっていない、自然のままの原生林なので、特にそのように見えてきます。私たちの身近にも、昔はたくさんあった原生林があったのです。もともと庭園美術というのは身近にあった原生林を再現したものですから。ところが今は、屋久島など深い森に行かなければ出会えない風景になってしまいました。

屋久島の景色が美術品のように見えてくるのは、なぜなのでしょう？

あの場所が自然のままの原生林だからなのかもしれません。まったく人の手が加わっていない、ありのままの自然の姿というのは、それ自体が非常に完成され、美しいものだから。

いままでのような「作品集」ではありません。「美術集」なのです。

今、お話しいただいた屋久島の森の独特な感覚は、はじめて屋久島の森に入られたときから感じられたものですか？

小さなシダに生命感を見た。バックの調子も出るように、陽が雲に隠れた一瞬を狙ってシャッターを切った。

■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4X5 レンズ：300mm 絞り：f32 シャッタースピード：8秒 フィルム：ベルビア 撮影地：鹿児島県屋久島白雲水映



頭上にはツバキの大きな樹があった。長時間露光で流れる水が雲のように写った。
■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4X5 レンズ：210mm 絞り：f32 シャッタースピード：30秒 フィルム：ベルビア 撮影地：鹿児島県屋久島宮之浦上流の散橋

屋久島の作品集は、作品はもとより、印刷や装丁にいたるまで、現在望みうる最高のものを目指しました。

屋久杉とシヤクナゲ。大樹の存在感を出すように構図を考えた。
■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4×5 レンズ：300mm 絞り：f32 シャッタースピード：1/10秒 フィルム：ベルビア 撮影地：鹿児島県屋久島屋久杉ランド



最初はほんの少し感じ取れただけで、それがはつきりとわかったのは5、6年たつてからだったと思います。私は写真家の土門拳さんを尊敬しているのですが、調べてみますと土門さんも屋久島を訪れたことがあって、屋久島を撮りたがっていたようです。土門さんは『古寺巡礼』という大変な名作の写真を出版されましたが、私が今回、4月の末に出版を予定している屋久島の写真集は、土門さんの『古寺巡礼』とまったく同じ大きさで、A3判(297mm×841mm)の大きな写真集です。

※土門拳(1909-1990)：リアリズム写真を確立した写真界の巨匠で、その名は世界的に知られています。

今回出版される屋久島の写真集が、以前に出版されてきた写真集ともっとも違うところは、どういった点なのでしょう。

美術集に仕立てたというところ。私は今まで『作品』として写真を撮ってきたわけですが、この屋久島の写真は、それを美術品にまで高めたい

と思っています。つまり屋久島の写真集は、いままでのような「風景写真集」ではありません。「美術作品」なのです。

屋久島の森はもちろん自然のもので。しかし、それが写真を通じて美術品にまで高められる、そのことを示してみたいのです。国宝の、たとえば仏像などが高い価値があるというのは誰でもわかることだと思のですが、自然が美術品だと言ってもわかりづらい。それを写真を使って、見てわかってもらおうと思っています。

贅沢な装丁なので、屋久島の写真集は、12万円と7万円の二種類の特装版をつくります。

えっ、12万円と7万円ですか。

12万円の本にはオリジナルプリントがつく限定版です。印刷も現在可能な最高の精度である700線の高精細印刷を使用していますので、葉の一枚一枚まで、葉の上の水滴までもが明確に再現されています。印刷技術から言っても、この写真集は現在望みうる最高のものですので、印刷出版を前提とした写真表現の可能性



見事な枝垂れ桜だが、雨露のある樹に感動した。座って見上げるアングルで大きさを強調した。
■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4×5 レンズ：150mm 絞り：f32 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：プロビア 撮影地：京都府北町常照堂の九重桜

をかなり高めてくれるものになると思います。

12万円という価格は、おそらく写真集としては今まで出版されたものの中で、もっとも高価なものだと思いますが、少しでも多くの方に見ていただきたいという気持ちもありますので、同時期に3,200円の廉価版のものも出版します。中味はほとんど変わりませんが、装丁や使用している用紙が違います。

※週刊誌などのカラーページで通常使用されている精度は160線程度ですから、その4倍以上の精度です。ちなみにフォトライフ四季は175線を使用して印刷されています。



苔むした幹をバックに、うんと絞り込んでピンントを合わせた。
■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4×5 レンズ：300mm 絞り：f45 シャッタースピード：1秒 フィルム：プロビア 撮影地：山形県長井市伊佐沢の久保桜

以前にも、今回のように特別装丁版と廉価版の2種類を同時期に出版されたことはあるのですか？

ありません。これがはじめてです。どちらも高精細印刷で刷る予定なのですが、これまでは高精細印刷を使用しなくてもできなかったのです。写真の出来もありまして、高精細印刷に適した写真と適していない写真があるのです。

どのような写真が高精細印刷に向いているのですか？

ピン트가限りなくシャープな写真でなければ意味がありません。それと、できるだけ明るい写真の方が向いています。もちろん、フィルムも35mmよりは中判、中判よりも大判の方が向いているのですが、ただ、今回撮った写真をテストしてみたところ、35mmでもうまく印刷が仕上がっているものもありました。写真集の中にも何枚かは35mmのものを採用しています。

印刷では出せないものを、デジタル技術を利用してことで再現します。

先生は以前より写真の印刷精度を追求され、写真のデジタル補正にも力注がれているようですが。

私が写真を撮り始めた頃には、すでに印刷はデジタル化されていましたので、自然と理解を深めてきました。もっとも、写真をコンピュータ上で合成したり、色を変えてしまうといった、いわゆるコンピュータ・グラフィックスのような使い方はしたことはありません。自分が表現したいもの、自然な景色の、見たときの印象に少しでも近づきたい、そのためにデジタルを使用しています。

具体的には、どのような部分でデジタルを利用されているのですか？

たとえば霧の中の風景を撮った場合など、写真の仕上がりが霧が印象よりも薄い場合があります。自分が撮りたかった霧はもっと濃いものであった場合など、デジタルで補正して霧の濃度を高めたりすることがあります。

また、フィルムを印刷にかけると色が微妙に変わってしまいます。暗い部分が黒くツブれて元の色が出ていないか



絞りを開けめにしてボケ味を楽しむ。日陰の部分を狙って花びらのやわらかい感じを出した。
■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4×5 レンズ：400mm 絞り：f11 1/2秒 シャッタースピード：1/15秒 フィルム：プロビア 撮影地：岐阜県岐阜市芥見の中将姫堂観音桜

いるわけではないのですか？

撮影しているときはアナログのフィルムです。それをスキャンニングして、コンピュータで補正処理をしてい

たり、明るい部分が白く飛んでしまい、再現されていなかったりします。それを写真をデジタル化して補正処理を加えることにより、印刷再現ができるようになります。

※フィルムはR(赤)B(青)の光の3原色で画像を再現していますが、印刷ではY(黄)M(マゼンタ)C(シアン)K(黒)の4色で再現しています。このため写真を印刷する際に色が若干変化してしまい、特に強い影の部分などは黒味が強調されてしまう傾向があります。

です。デジタルカメラには興味があるのですが、試しに使用してみたりすることもありますが、私が求める表現を可能にするには、まだ精度が低いんです。もっとも、数年後にはデジタルカメラで作品を撮れるようになるのではないのでしょうか。



日本一古い桜だが、毎年見事な花をつける。樹を中心に安定した構図を考えた。
■カメラ：リンホフマスタートヘニカ4×5 レンズ：90mm 絞り：f32 1/2秒 シャッタースピード：1/8秒 フィルム：プロビア 撮影地：山梨県武川村山高の神代桜

カメラのキタムラ 春の花 第8回全国フォトコンテスト

カメラのキタムラ 「第8回全国春の花フォトコンテスト」 作品募集のお知らせ

年々応募点数も作品のレベルもアップしており、写真ファンの皆さんにもすっかりおなじみとなったキタムラ「全国春の花フォトコンテスト」。今回も桜はもちろん、春に咲く花をモチーフとした作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。

賞金・賞品総額
550万円

※詳しくは、3月下旬よりカメラのキタムラ店頭で設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。

「最後にになりましたが、春の花フォトコンテストの審査をお願いするにあたって、応募される方に期待されることがありましたら、教えてください。」

自分ならではの世界を写真で表現してほしいですね。また他の人が見て気持ちのよくなる作品を目指してください。もちろん濃厚な写真表現もあると思います。が、やはり春という季節を考えると、明るくて気持ちのいい写真の方がふさわしいのではないのでしょうか。その「気持ちのよさ」という点を、みなさんに自由に伝えたい。ダイナミックな気持ちよさ、ロマンチックな気持ちよさなど、様々なとらえ方ができると思います。ただ、作為性が強すぎる作品は避けたい。方がいいのではないのでしょうか。より自然な作品の方がいいと思います。

キタムラのフォトコンテストは、大判でプリントして応募されてきますから、写真のクオリティを一般の方に理解していただくには、よい機会になっていると思います。口や文字で説明するよりも、実際に自分で撮った作品を大きく引き伸ばした方がわかりやすいですから、キタムラに希望することは、店員の方に、お店に来られるお客様以上に、写真を好きになってほしいことです。写真が好きならば、ビギナーからベテランにいたるまで、写真に関するアドバイスをしてあげられます。それがとても大切なことだと思います。

「今日は忙しいところを、ありがとうございます。ありがとうございました。」

カメラのキタムラ 「第8回全国春の花 フォトコンテスト」



前日の風と雨で残念ながら散ってしまったが、花びらが黒い幹にはりついて、はかない美しさを感じた。
■カメラ：リンホフマスタートレヒニカ4×5 レンズ：150mm 絞り：f22 1/2 シャッタースピード：3秒
フィルム：プロビア 撮影地：新潟県五泉市小山田の彼岸桜



黒い幹を手前に入れて構図を考え、広重の絵を頭に浮かべていた。
■カメラ：リンホフマスタートレヒニカ4×5 レンズ：135mm 絞り：f132 シャッタースピード：1/4秒
フィルム：プロビア 撮影地：秋田県角館町

デジタル技術は私にとって、あくまで表現を広げるための補助的な手段です。

昨年、東京の銀座ミキモトホールで開催された、先生の『和の楽園 日本宿』という作品展では、デジタルを使用されたとうかがっていますか？

そうです。展示していた作品はすべて一度スキャンニングして、レーザー光線でネガカラーの印刷紙に焼き付けて

います。

通常のプリントでは、暗い影の部分は印刷紙に焼き付けるときにツブれて黒くなってしまいます。しかし、被写体を肉眼で見ているときには、影の部分もちゃんと見えています。普通は、この影の部分をプリントで再現するために、撮影時にストロボやレフ板を使って人工的に光を当てます。こうした人工光は、自然光が遮られる室内写真では特に多用されます。しかし、この「日本の宿」で展示した作品には、こうした人工的な光は一切使用しませんでした。もちろん部屋の中にはじめからあったライトはそのまま使っていますが、それ以外の人工光はまったく使いません。

たく使っていません。それをデジタル処理にかけて影の部分まできれいに再現したのです。

そんなことができるのですか？

アナログの被い焼きでも同じようなことができるのですが、デジタルで補正した方が微妙な調子を再現することができます。

※被い焼き：フィルムから印刷紙に焼き付けるときに、部分的に明るくする方法です。

先生はデジタルの写真技術の今後に、どのようなことを期待されていますか？

私の場合は写真の表現の幅を広げるためにデジタルを利用してはいますが、今後は今以上にフィルムやカメラの限界をなくしていつてくれるのではないかと期待しています。

今後の三好先生の活動予定についておろがたいのですが。

今、進んでいる計画としては空海の世界を写真で表現してみたいと思っています。空海と関わり深い四国霊場の八十八箇所から高野山、またチベットやヒマラヤまでも作品としてまとめてみたいと思っています。昨年はチベットのカイラス山に行ってきました。



こんなところに龍を見つけたぞと思って、そっと近寄って撮った。
■カメラ：リンホフマスタートレヒニカ4×5 レンズ：400mm 絞り：f11 シャッタースピード：1/2秒
フィルム：プロビア 撮影地：岐阜県岩村の臥龍桜



8 ①池田 豊様 ②長野県駒ヶ根市中沢原新宮川岸(しんがし) ③4月中旬 午前8~9時 ④カメラ位置を変える度に中央アルプスの宝剣岳~南駒ヶ岳をバックに桜を入れて撮れる。桜とアルプスの露出差が大きいのでNDフィルターがあると便利。⑤JR飯田線駒ヶ根駅→伊那バス中沢線新宮川岸下車→徒歩1分



7 ①富島 和子様 ②山梨県八代郡八代町八代町ふるさと公園・古墳広場 ③4月上~中旬 いつでも可 ④春霞で南アルプスが霞む日が多い。スカッと晴れた日が狙い。⑤中央自動車道一宮御坂ICから15分



9 ①久野 泰宏様 ②滋賀県高島郡マキノ町(琵琶湖北側)海津大崎(国道303号沿の桜並木) ③4月中旬 夕方 ④桜が満開よりも散り際の桜吹雪がよい。桜並木は数Km続くが入口側付近に古木が多く撮影に適している。⑤JR湖西線マキノ駅→JRバス海津大崎口下車→徒歩約300m



12 ①高重 道教様 ②広島県山県郡芸北町細見 ③4月中~下旬 早朝 ④桜とバックの松林の間に霞が入る時があり、朝日とのバランスをとって撮影(周囲の畑などを荒らさないように)。⑤国道186号細見より→県道113号を5分程度走り、石山道に入る



11 ①田辺 勝様 ②兵庫県朝来郡和田山町竹田 竹田城跡(山頂) ③4月中旬 午前7時頃 ④ISO 50を使用しているが、城跡は風が強く、ブレを考えるとISO 100~400の使用も考慮。⑤JR播但線竹田駅→タクシー約20分 城跡駐車場→徒歩20分



10 ①森岡 勝利様 ②奈良県吉野郡吉野町吉野山 ③4月中旬 午前5時30分前後 ④理想的には雨上りの早朝、建物や道が霧に隠れている時がよい。⑤近鉄南大阪線吉野駅→ロープウェイ終点山上駅→徒歩20分 七曲坂を越えて観光駐車場手前右側



カメラのキタムラ 第8回全国「春の花」フォトコンテスト

カメラのキタムラ「第8回全国春の花フォトコンテスト」作品大募集!!

年々応募点数も作品のレベルもアップしており、写真ファンの皆さんにもすっかりおなじみとなったキタムラ「全国春の花フォトコンテスト」。今回は桜はもちろん、春に咲く花をモチーフとした作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。

賞金・賞品総額 **550万円**

※詳しくは、3月下旬よりカメラのキタムラ店舗に設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。

キタムラがお薦めする「春の花」撮影ポイント

ここに掲載されている撮影ポイント及び写真は、第7回「全国春の花フォトコンテスト」の入選作品以上の方々にご協力いただいたものです。

お客様からの「撮影ポイントを教えてください」という声に応じて企画しているページで、毎回好評を博しています。協力者からの撮影アドバイスを掲載していますので、参考にしてください。説明の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※時期はその年の気候によって変化します。事前に確認してお出かけください。
 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっている可能性もありますので、ご了承ください。
 ※撮影する場合はエチケットやマナーをお守りください。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけないように注意しましょう。自然環境の配慮もお願いします。

〈桜の部〉

3 ①高橋 健三様 ②岩手県岩手郡栗石町小岩井農場遊園地から栗石スキー場への道路上 ③4月下旬 午前がよい ④多くのコンテストに応募されている場所。類似な構図にならないように変化を付けること。牧草地は立入禁止ですので注意してください。⑤JR盛岡駅→JR田沢湖線(秋田新幹線)小岩井駅→バス小岩井遊園地下車→徒歩約20分



2 ①安田 宝悦様 ②青森県弘前市弘前城 ③5月上旬 午前7~8時 ④人が交錯しない時間を選びを。⑤JR奥羽本線弘前駅→タクシー5分



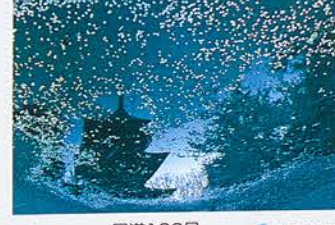
1 ①野田 三成様 ②北海道有珠郡壮瞥町 壮瞥公園 ③5月上旬 午前7時頃 ④晴天・無風の午前中、斜光で狙いたい。⑤JR室蘭線洞爺駅→洞爺湖方面へタクシー20分



6 ①石井 清一様 ②神奈川県平塚市花水川堤(金目川) ③4月上旬 午前がよい ④川の兩岸数百メートルの桜並木。北の方角にある大山・丹沢連峰を入れたい。PLフィルターを所持したい。⑤JR東海道線平塚駅 北口→神奈川中央バス湘南平行→花水橋下車



5 ①市村 民之助様 ②埼玉県川口市 安行西福寺境内 ③4月上旬 ④風情のある桜の花と三重の塔が魅力です。⑤JR武蔵野線東川口駅→バス西立野下車→徒歩5~6分



4 ①佐藤 幸夫様 ②福島県石川郡棚倉町 国道118号線沿い ③4月中旬 午後1~3時 ④撮影は早朝の方がよいかも知れません。⑤JR水郡線 磐城棚倉駅→国道118号線に出て、須賀川方面へ徒歩40分



〈一般の部〉

7 ①柏村 晴男様 ②島根県鹿足郡柿木村 高津川 下須から大野原の間 ③5月上旬 太陽の向きで終日 ④不要のビニールなど流れ物がない場所を選ぶか、除去するか。⑤JR山陰線益田駅→JR山口線日原駅→バス 岩国方面行 柿木下車



6 ①小川 康男様 ②岡山県高梁市頼久寺 町 頼久寺 ③5月中～下旬 日中であれば常時可 ④サツキの咲いた頃がよい。寺の撮影は許可性(問合せ:0866-22-3516)。庭園内での撮影は不可。⑤JR伯備線備中高梁駅→伯備線に沿って北上 徒歩10分



5 ①向井 寛様 ②兵庫県川辺郡猪名川町 大野(おおよ)アルプスランド(山頂のあじさい園)6月下旬～7月下旬 常時可 ④天候で花の情景が大きく変化。標高753mでも風雨の強いときは避けたい。⑤阪急川西能勢口駅→バス 柏原停留所下車→山道を徒歩約1時間



9 ①日下 芳治様 ②徳島県麻植郡美郷村刷石 ③3月上旬 午前8時頃 ④梅林が斜面に点在しており、時間帯でポイントが変化。足で撮ろう。⑤JR徳島線阿波山川駅→タクシー約15分



8 ①三好 政夫様 ②山口県小野田市 江汐公園 つつし山周回道路より ③4月中旬 午前7時頃 ④快晴で湖面にモヤがあるとベスト。コバノミツバツツシの群落が見事(つつし祭よりも開花が速いので注意。問合せ0836-83-5378)。⑤JR山陽本線小野田駅→タクシー約10分



10 ①宮崎 孝敏様 ②香川県三豊郡間町 内半島 ③5月中旬 夜明け～午後4時 ④ベストタイムは昼前後、青い空、瀬戸の島々と海、そしてマーガレットの白。フィルターは必携。⑤JR予讃線詫間駅→タクシー15～20分



〈桜の部〉

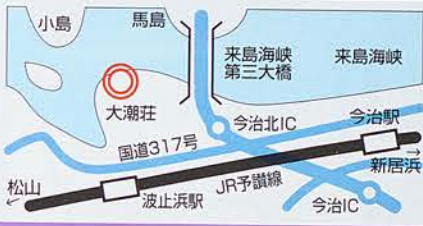
15 ①大塚 幸喜様 ②長崎県西海町 西海橋公園 ③4月上～中旬 早朝が夕方 ④日中は川面の方へ移動するとよい。⑤長崎自動車道武雄南IC→西九州自動車道佐世保大塔IC→針尾バイパス国道202号→西海橋



14 ①大館 芳宏様 ②高知県吾川郡吾川村桜地区 桜公園(ひょうたん桜) ③4月上旬 早朝 ④雨あかりが目玉。⑤JR土讃線佐川駅→松山方面JRバス急行約30分→土佐大崎バス停→徒歩(又はタクシー)4Km→ひょうたん桜



13 ①村上 義徳様 ②愛媛県今治市糸山公園「来島海峡展望館」近くのレストラン「大潮荘」別棟屋上 ③4月中旬 午後7時頃 ④日没直後、しかも大潮の満ち込み時がねらい目で、紋りによる露出補正が有利。⑤JR予讃線波止浜駅→タクシー5分



●印はカメラのキタムラがある地域。

説明の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※時期はその年の気候によって変化します。事前に確認してお出かけください。
 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっている可能性もありますので、ご了承ください。
 ※撮影する場合はエチケットやマナーをお守りください。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけないように注意しましょう。自然環境の配慮をお願いします。

〈一般の部〉

2 ①青木 隆男様 ②群馬県佐波郡赤堀町赤堀南小学校 隣 柏川、車東橋北、川沿い ③4月下旬 午前9～11時 ④風の強い晴天は景観もよい。⑤JR両毛線伊勢崎駅より車→華蔵寺公園 右折→国道462号→市場交差点 左折→赤堀南小学校



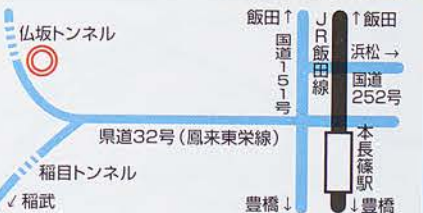
1 ①荒井 光様 ②茨城県つくば市筑波梅園(筑波山中腹、梅園の中央に大きな岩があり、その周辺に紅梅が見られる) ③3月中旬 午前10時頃 ④斜面とあって見下ろすのも見上げるのもよい。白梅が多いので紅梅をポイントにして、コントラストをとるためにPLフィルターを。⑤常磐自動車道土浦北IC→国道125号を筑波方面へ→筑波参道入口右折→観光がま園、その奥が筑波梅園



4 ①大橋 茂夫様 ②奈良県吉野郡下市町 立石 ③4月上旬 特に時間に関係なし ④「こぶしの里」といわれているが、電線がないに避けるかがポイント。⑤近鉄吉野線下市口駅→バス天川村方面行き 下市温泉下車→川に沿って上流へ徒歩30分



3 ①中沢 力男様 ②愛知県南設楽郡鳳来町四谷地区 ③3月上～中旬 午前6～7時頃 ④朝の弱い斜光が逆光を応用。枝振りや光線選びがポイント。⑤JR飯田線本長篠駅→タクシーで県道32号北進 約10分



路上観察紀行 奥の細道 ウォッチング

〈第2回〉

藤森 照信氏

前回、ご紹介した林文二氏は、幼少の頃から路上観察を楽しまれている方でしたが、今回ご紹介する藤森照信氏も「いつから路上の変なものに興味を持ったのか覚えていない」という生粋の路上観察者の一人です。

藤森氏はその天性の路上観察者の視線で建築物をとらえ、建築史家の本業とされていますが、氏の観察した「奥の細道」の路上は、どのようなものだったのでしょうか。

今回はその豊かな好奇心と広範囲な創造力を持つ氏に、「路上観察学会」と「奥の細道」のお話をうかがいました。



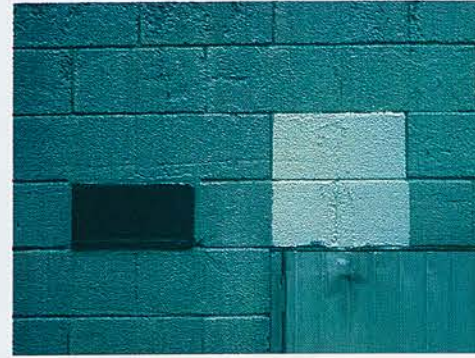
ふじもり てるのぶ
1946年長野県に生まれる。東北大学工学部建築学科卒業後、東京大学大学院博士課程に進む。1980年「明治期における都市計画の歴史的研究」で日本都市計画学会賞、市政調査会藤田賞を受賞。1983年には「明治の東京計画」で毎日出版文化賞を受賞。1986年「建築探偵の冒険 東京篇」で日本文化デザイン賞、サントリー学芸賞を受賞。1997年には「ニラハウス」で日本芸術大賞受賞。現在、東京大学生産技術研究所教授。近年では東京の抽象的な巨大オフィスビル群に「都市が見えなくなる」と警告も発している。



◀同潤会の吹上の美しい螺旋階段。深川の同潤会は職人や工業労働者用に建てられたアパートなので、かつてはここに何人もの職人が上り下りしていたに違いない。(深川)



◀下野煉瓦製造所。日本の西洋館に使用された煉瓦の大半はこの製造所で作られたのだが、今では立派なトマソン（無用の長物）だ。(野木)



▲雨に濡れたブロックの二つだけが白い。一つだったら撮らなかつたかもしれないし、二つが左右に並んでいたのでは、やはり面白くない。白色にはなぜか正方形がよく似合う。(深川)

藤森照信氏は西洋建築の変遷から、時代や文化の推移を引き出す建築史家としての前名ですが、その一方、氏の路上観察のように、建築の専門的な知識を持たない一般の方々でも、楽しく読むことができ、コラムやエッセイも執筆されるなど、

多方面にわたって活躍されています。建築家としても、壁にタンポポを生やした「タンポポハウス」や、屋根一面に1000株ものニラを植えた「ニラハウス」、チョンマゲのように松を屋根のてっぺんに生やした「一本松ハウス」など、斬新でユニークな発想の作品を発表、話題を集めました。中でも「ニラハウス」では日本芸術大賞を受賞されています。また、建築史の研究では、日本都市計画学会賞や市政調査会藤田賞などを受賞されています。このように、建築の設計と研究の両面で活躍されているユニークな方です。「路上観察学会」には発足当初から参加されている氏に、その常識にとられない創造力がいつから芽生えたものなのかがうかがえました。

子どもの頃から古い

ものや変なものが好きでした。小学生の頃だったと思いますが、古本屋で江戸時代の本を買ってきて、汚かったので母親に嫌がられたことがあります。鉄でできた何かの部品なんかも好きでした。たとえば自転車の部品などが道端に落ちてると、よく拾ってきました(笑)。家内の話では、結婚した当初は机の中に、そういう変なものが入っていたらしいんですね。ですから、大学生になってからも拾っていたようです(笑)。



▲鹿沼で見つけた不思議な石碑。上には日と月があり、その下で二匹の狼が変な格好をしている。どのような信仰なのだろう。(鹿沼)

象が強烈に残っています。建築を意識的に見るようになったのはそれからだと思っています。

こうして藤森氏は建築に強い興味をいだき、やがて建築史に進んでいきます。そして東京大学大学院博士課程在学中に「明治の西洋館」という本を出版してデビューすることになりました。この時に、日本の近代建築史は明治初期以降が明らかにされていないことを知り、「東京建築探偵団」を結成、失われた建築史の解明に乗り出します。「当初は東京の街をブラブラ歩きするだけ」という「路上観察学会」発足メンバーの面目躍如たる出発だったようです。この活動はその後「日本建築総覧」各地に遺る明治大昭和の建物」として結実することになるのですが、その一方で、「建築探偵の冒険 東京篇」を出版するきっかけにもなりました。



▶古くて見事な土蔵造りの民家。私は古い民家や町屋に興味があるので、こうした写真をよく撮る。(上野)

建築に興味を持ったのも子供の頃からです。今でもはつきりと覚えているのは小学2年生の頃、父親が実家を建て替えたときのことです。親戚の木工さんが家に泊まり込んで立て替えてくれたんですが、その木工さんは親戚なので、平気で私を手伝わせるんです。そのおかげで家を壊して再び建てるまで、製材の段階から壁塗りまで、全部の行程を見ることができました。その印象が強烈に残っています。建築を意識的に見るようになったのはそれからだと思っています。

こうして藤森氏は建築に強い興味をいだき、やがて建築史に進んでいきます。そして東京大学大学院博士課程在学中に「明治の西洋館」という本を出版してデビューすることになりました。この時に、日本の近代建築史は明治初期以降が明らかにされていないことを知り、「東京建築探偵団」を結成、失われた建築史の解明に乗り出します。「当初は東京の街をブラブラ歩きするだけ」という「路上観察学会」発足メンバーの面目躍如たる出発だったようです。この活動はその後「日本建築総覧」各地に遺る明治大昭和の建物」として結実することになるのですが、その一方で、「建築探偵の冒険 東京篇」を出版するきっかけにもなりました。



▲桑折では見事なナマコ塀を発見。ここは今でも人が住み、生活している。(桑折)



▲白河では祭りに出陣した。ドラエモンを飾っている。祭りも進化(?)しているのだ。(白河)

一人にあだ名がつけられていて、赤瀬川氏は「長老」、林氏は「神様」、南氏は「大人(たいじん)」、松田氏は「歩く資本主義」、そして藤森氏は「マホメット」と言われている。そして藤森氏は「マホメット」と言われている。そして藤森氏は「マホメット」と言われている。



▲二階にズラリと並んだホウキ。鹿沼はホウキの需要が高いのだろうか?(鹿沼)

見た編集者で、現在は路上観察学会のメンバーでもある松田哲夫さんが、突然私のところに来てきて、私の書いた雑文を本にしたいと言っています。その頃にはもう調査は終わっていて、私は終わったことには興味がありませんし、次の研究も初めていたので忙しく、最初は断ったんです。それでも松田さんはあきらめずに、またやってきました。「今まで書いた

ものを貸してください。こちらでまとめますから」と言うので、書いたものを渡すと、一ヶ月後に本の見本を持ってきてきたんです。それで「ここが少し足りない」と言う。そこでやってくれていますから、仕方がないので私も古い文章に手を入れる気になりました。手を入れはじめると、足りないところも目につき、結局、半分ほど書き下ろすことになってしまいました。

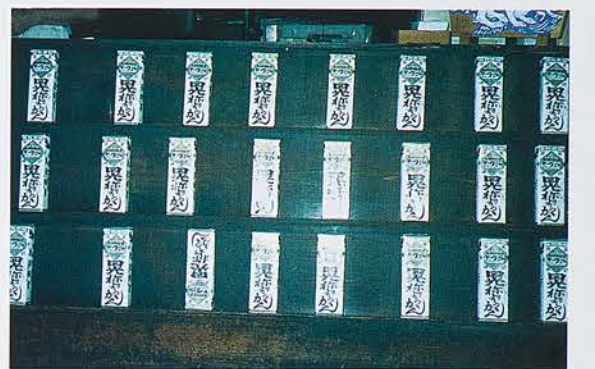
こうして世に出た「建築探偵の冒険 東京篇」で、藤森氏は日本文化デザイン賞とサントリー学芸賞を受賞します。この後、氏のもとに林丈二氏の写真集「マンホールの蓋」の書評の執筆依頼が舞い込みました。藤森氏はこの話を赤瀬川氏に頼んではどうかと提案。前号の林丈二氏の回でも紹介したとおり、これが「路上観察学会」発足のきっかけとなりました。

古い町並みというものは、街の進化にとっても重要な役割を果たしていると思うのです。路上観察学会の今回の「奥の細道」でも、藤森氏は路上の様々な景観を建築史家として独特の観点から分析しています。特に古い町並みに着目して、街の進化やひいては文化の進化をも観察しているようで、路上観察のお話をうかがっている方も、話は自然とそちらの方に向かっていきます。



▲コロニアル風の西洋館を見つけた。お医者さんのお家で、今でもここで開業されている。(鹿沼)

ある日、出版社から林丈二さんの、マンホールの蓋の写真集を出版するので書評を書いてくれないかという電話がきたのです。私は断ったんですよ、マンホールの蓋なんか嫌いだからって(笑)。それからしばらくすると、林さん本人が写真集を持って現れたんです。見てびっくりしました。すぐく画的な写真集だったので。わたしはその時、「この写真集はぜひとも世に広めなければならぬ！」と思う反面、立場上「アナイ！」とも思いました。こんなことをしているアカデミストとしての立場がなくなってしまうんです(笑)。それで赤瀬川原平さんに書評を書いてもらってはどうかという提案をしたのです。



▲名物の日光羊羹。よく見ると下の列の一つだけ逆さまに置かれたものがある。これは間違えたわけではなく、全部を同じ方向に揃えると縁起がよくない、という古い言い伝えが今でも守られているため。(日光)



飯坂温泉では鯖湖湯という共同浴場があるのですが、ここでは古い共同浴場の形が残されていて、脱衣所と浴室が仕切られていないのです。昔はお風呂に入っている人たちと服を脱いでいる人たちが

飯坂温泉でもっとも古い中村屋旅館。中に入ると、江戸時代に作られた区域、明治に作られた区域、大正に作られた区域と、時代の異なる三つの区域に分けられている。(飯坂)

▲雨樋が屋根からはずれて立っている。雨粒たちは、どうやって雨樋に飛び移るのだろうか?(日光)



▲矢板にポツンポツンと残されていた蔵のひとつ。仲良く並んだ夫婦蔵である。(矢板)



▲ビルのほざ間にポツリと御神体がある。再開発の波にさらされて、神様まで追いやられてしまった。(日光)



▲矢板にポツンポツンと残されていた蔵のひとつ。仲良く並んだ夫婦蔵である。(矢板)

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス



ミューで撮ろうと決めました。

「撮れた」を確かめられる、安心のVF機能。



新登場

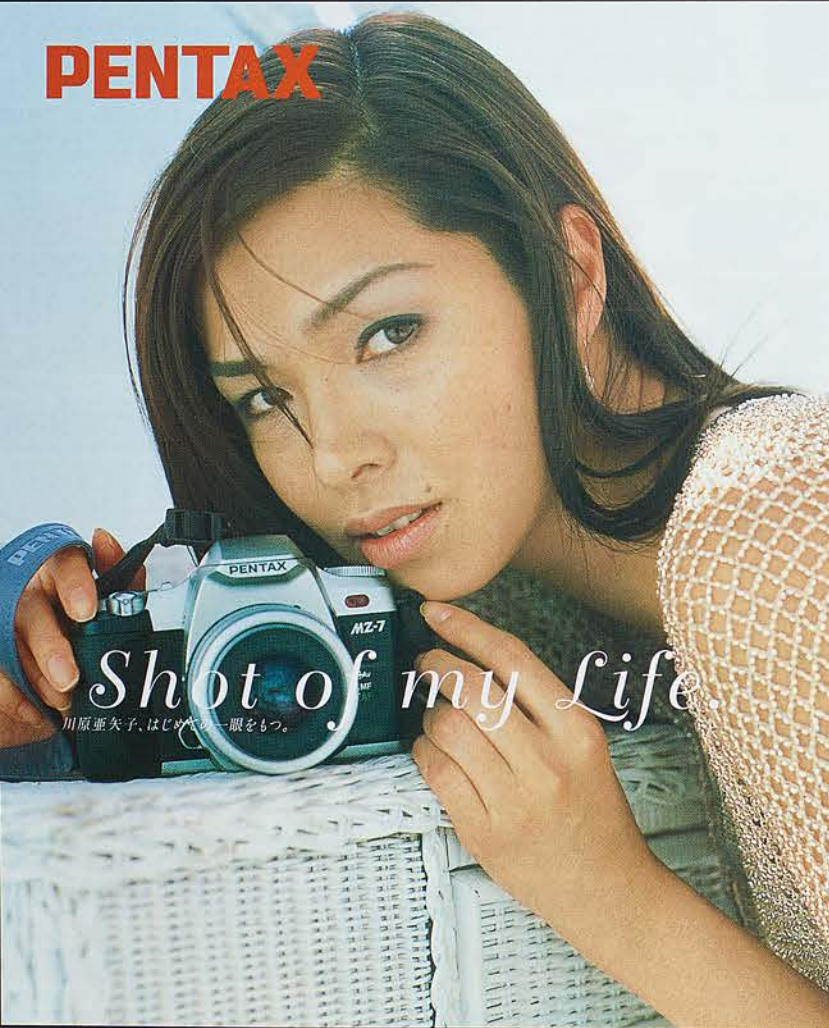


ビジュアルファインダー搭載
mju: ZOOM VF

希望小売価格(税別) ¥69,000
(リモコン・本革ケース・ストラップ付)

μ・新基準

PENTAX



世界初!『光っておまかせプログラム』搭載。
超小型軽量・リモコン付AF一眼、デビュー。

光っておまかせ。



MZ-7

希望小売価格(税別) ●MZ-7ボディ ¥67,000円
●MZ-7 FAズーム28mmF3.5~80mmF5.6付 ¥93,000円
●MZ-7 FAズーム35mmF4~80mmF5.6付 ¥89,000円
※この広告で使用しているストラップは別売品です。

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)
この商品のカタログはペンタックスのホームページでご覧いただけます。http://www.pentax.co.jp/
カタログご希望の方はハガキで、必ず機種名を明記のうえ、〒100-8692 東京都中央区新富町8-5 株式会社ペンタックス販売(株) 宣伝部へ。
製品についてのお問い合わせは、お客様相談室へ。03(3572)6479



「思わずみとれる」
カメラ: キヤノンEOS5S
レンズ: 28~105mm 絞リ: f8
シャッタースピード: オート
フィルム: フジプロビア

ぶらり
わが街

「東京都羽村市」
富島和子さん

写真を趣味としている方々に、地元の名所や撮影ポイントを紹介していただいているこのコーナー。今回はキタムラ主催の第7回春の花フォトコンに続き、第8回秋の彩フォトコンにも上位入賞した東京都羽村市の富島和子様にご登場いただきました。(カメラのキタムラ東京/羽村店II西野)

羽村市に住んで二十五年になります。市に隣接して米軍横田基地に近く、引越してきた当初は家から滑走路が見え、



「奥多摩の夕焼け」
カメラ: キヤノンEOS5S
レンズ: 28~105mm 絞リ: f8
シャッタースピード: オート
フィルム: フジプロビア

離着陸する戦闘機や軍用機に大変驚いたものです。そして空気の澄んだ日には、新宿の高層ビル、東京タワーなど、遠くの夜景も楽しめました。しかし、今では高層住宅に阻まれて、見えることはなくなりました。もともと、頭を右に振りますと、富士山を望むことができます。夏の夜、懐中電灯をつけて登る、登山者のあかりが中腹から頂にかけて線を描いたように浮かびあがる時があります。そんな日はなぜかワクワクした気分になります。

羽村市といえば、玉川上水でよく知られています。一六五三年、玉川兄弟によって切り開かれた上水は、江戸市民の重要な飲料水となりました。取水口の羽村堰には兄弟の像が建立されています。市内を流れる多摩川は、桜やチューリップ



「朝日に光る多摩川」
カメラ: キヤノンEOS5S レンズ: 28~105mm 絞リ: f8
シャッタースピード: オート
フィルム: フジプロビア

RICOH

高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用・4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとても便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCL分光透過率 ●高精度7ゾーンパッシブ方式マルチオートフォーカス ●美しいホケ味の為に考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●シンプルで明るいブライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード: フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF(LV6以上中央重点測光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

(ボディカラー: ブラック/シルバー)
GR1s ●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込) GR1s ¥95,000(税別) GR1s DATE ¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00 ●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

の咲く頃、大勢の観光客で賑わいます。花見はもちろん、絵を描く人、野鳥観察の人、パーベキューをする人、散歩の人、そして写真を撮る人など、想いを求める人が絶え間があります。緑豊かで、私達に潤いを与えてくれる、この多摩川がいつまでも美しいまま、次世代に繋がるように願っています。



富島和子さん/写真家は、12年ほど前、地元の写真教室で勉強を始めたのがきっかけになってスタート。この「ぶらりわが街」に登場をお願いした時も、「写真歴はある程度あっても、実力が……」と語っておられましたが、最近、メキメキと腕をあげているようです。最近「景色」に重点をおいているとのこと。特に「富士山を入れた景色」をテーマにしていること、考えているそうです。



「チューリップ」カメラ: キヤノンEOS5S レンズ: 28~105mm 絞リ: f11
シャッタースピード: オート
フィルム: コダックEB100



「古代大賞」カメラ: キヤノンEOS5S レンズ: 28mm 絞リ: f8
シャッタースピード: オート
フィルム: フジプロビア

審査員特別賞 全部門共通 賞金3万円と楯〈10名〉



佳作 賞金1万円と楯

リバーサルプリント 紅葉の部〈40名〉

- 北海道 中原寛次(帯広市)「秋彩」
- 森 政雄(帯広市)「落葉」
- 福島県 吉田 宏(福島市)「深谷の彩」
- 山形県 日野 諒(東村山町)「カラ松林の印象」
- 岩手県 巖岩正克(岩手郡)「静寂」
- 栃木県 鯉沼孝雄(下都賀郡)「秋彩」
- 群馬県 下山達夫(桐生市)「晩秋」
- 埼玉県 神山有治(深谷市)「朝霧の中で」
- 東京都 齋藤章一(熊谷市)「秋雨」
- 吉村康則(児玉郡)「秋雨光彩」
- 瀧しま修二(新座市)「秋彩」
- 桑 一男(上福岡市)「タキ」
- 長野県 佐藤信一(下伊那郡)「梨園秋色」
- 新潟県 榎木 元(柏崎市)「空家紅葉」
- 佐藤幸助(三条市)「斜光の朝」
- 相場幸一(燕市)「時の記憶」
- 静岡県 杉山典之(浜松市)「親子」
- 落合正和(清水市)「朝露」
- 愛知県 日比野義孝(春日井市)「光のシャワー」
- 大屋定夫(安城市)「秋彩の夫婦滝」
- 仁枝富久(豊川市)「落葉」
- 三重県 杉野英郎(鈴鹿市)「火紅葉(かえんもみじ)」
- 大阪府 矢野良一(箕面市)「古木の秋」
- 細野勝之(泉大津市)「秋の終焉」
- 長崎崎弘(河内長野市)「紅葉に向いて」
- 大園賢一(堺市)「晩秋の溪」
- 兵庫県 竹島省三(神戸市)「七五三参り」

リバーサルプリント 紅葉の部〈40名〉

- 奈良県 今西茂男(大和高田市)「惜秋」
- 阪之上敏博(大和高田市)「深山幽谷」
- 上田隆司(香芝市)「移りゆく秋」
- 岡山県 金高正典(岡山市)「カルストの秋」
- 金高正太郎(岡山市)「古刹の秋」
- 上田興達(倉敷市)「秋彩」
- 愛媛県 難波江成明(西条市)「霜の朝」
- 高知県 安野茂子(高知市)「無題」
- 山本貞則(高知市)「光彩」
- 福岡県 宮崎啓一(福岡市)「高原沼の紅葉」
- 深江昭三(春日市)「晩秋の石庭」
- 熊本県 黒瀬博恭(熊本市)「秋陽」
- 大分県 高倉雄二郎(日田市)「もみじの輝き」
- 北海道 小林美知子(札幌市)「落葉の語り」
- 福田明広(河東郡)「美なる頃」
- 青森県 大平光徳(黒石市)「枯木運々」
- 秋田県 五十嵐若子(平鹿郡)「収穫期」
- 宮城県 森 涼一(角田市)「早晩の秋」
- 山形県 泉 洋一(山形市)「干し柿の里」
- 群馬県 中島真一(太田市)「朝」
- 善養寺 義男(北群馬郡)「里の秋」
- 埼玉県 佐藤憲二(本庄市)「コスモスと蝶」
- 佐野秀夫(入間郡)「豊稔」
- 千葉県 米井弘子(鎌ヶ谷市)「熟柿、照る」

ネガカラープリント 紅葉の部〈20名〉

- 北海道 石島 忍(函館市)「初雪」
- 山岸哲史(山越郡)「yellow」
- 横田悦行(勇払郡)「恵庭深谷の秋」
- 秋田県 佐々木 茂(大曲市)「初雪の朝」
- 富山県 堀 一人(西砺波郡)「里の秋」
- 森永文策(新湊市)「残照の刻」
- 静岡県 江間輝夫(浜松市)「川霧」
- 滋賀県 原 久夫(草津市)「竹林に咲く」
- 大坂府 澄川真直(堺市)「朝モヤ」
- 大塚一夫(河内長野市)「六地藏」
- 奈良県 大迫 明(奈良市)「輝く朝」
- 西山元章(奈良市)「高原の朝」
- 森脇弘幸(奈良市)「秋日和」
- 鳥取県 古安宣夫(米子市)「モデルサン」
- 岡山県 藤原田貞男(松江市)「収穫の秋」
- 吉田 進(八東郡)「深秋」
- 岡山県 田村末廣(苫田郡)「水鏡」
- 大野和子(都窪郡)「朝露に煙る」
- 広島県 賀中義隆(広島市)「秋の頃」
- 松苗 覚(庄原市)「朝露」
- 熊谷雄幸(呉市)「南天の美と舌ひヨヨ島」
- 山口県 山田和夫(宇部市)「立秋の青空」
- 徳島県 日下芳治(板野郡)「そば畑の朝」
- 福岡県 鐘ヶ江春雄(三浦郡)「干し柿」
- 熊本県 緒方昭夫(熊本市)「秋の舞」
- 草野政盛(鹿本郡)「初秋の高原」

ネガカラープリント 一般の部〈20名〉

- 秋田県 新堀修一(秋田市)「秋日和」
- 埼玉県 市川哉也(川越市)「食慾の秋」
- 上原 操(越谷市)「初秋」
- 千葉県 平山新一(旭市)「秋の止まり木」
- 内山政治(山武郡)「秋色」
- 東京都 荒幡信行(青梅市)「なんだか、なつかしい」
- 長野県 坪 久美子(伊那市)「ひまわりの晩鐘」
- 愛知県 水野博文(名古屋市中)「小春日和」
- 鳥山恭宏(豊川市)「晩秋の水面」
- 三重県 東 潔(名張市)「初秋の咲く」
- 松尾逸生(一志郡)「霧の滝」
- 滋賀県 猪本雅之(大津市)「屋根がお家」
- 大阪府 浅田正義(高槻市)「秋空乱舞」
- 奈良県 吉田尚賢(磯城郡)「弾ける」
- 鳥根県 中山正士(松江市)「晩秋の彩」
- 岡山県 寺井 紀(岡山市)「玉すだれ」
- 竹内久司(和気郡)「笑顔(2)」
- 片岡正志(吉備郡)「ひなたぼっこ」
- 香川県 小野 哲(観音寺市)「落葉」
- 愛媛県 広田和夫(宇部市)「秋の彩」
- 熊本県 井上雄次(北条市)「秋の彩」
- 遠山節雄(熊本市)「落葉の頃」

ネガカラープリント 一般の部〈20名〉

- 北海道 石島 忍(函館市)「初雪」
- 山岸哲史(山越郡)「yellow」
- 横田悦行(勇払郡)「恵庭深谷の秋」
- 秋田県 佐々木 茂(大曲市)「初雪の朝」
- 富山県 堀 一人(西砺波郡)「里の秋」
- 森永文策(新湊市)「残照の刻」
- 静岡県 江間輝夫(浜松市)「川霧」
- 滋賀県 原 久夫(草津市)「竹林に咲く」
- 大坂府 澄川真直(堺市)「朝モヤ」
- 大塚一夫(河内長野市)「六地藏」
- 奈良県 大迫 明(奈良市)「輝く朝」
- 西山元章(奈良市)「高原の朝」
- 森脇弘幸(奈良市)「秋日和」
- 鳥取県 古安宣夫(米子市)「モデルサン」
- 岡山県 藤原田貞男(松江市)「収穫の秋」
- 吉田 進(八東郡)「深秋」
- 岡山県 田村末廣(苫田郡)「水鏡」
- 大野和子(都窪郡)「朝露に煙る」
- 広島県 賀中義隆(広島市)「秋の頃」
- 松苗 覚(庄原市)「朝露」
- 熊谷雄幸(呉市)「南天の美と舌ひヨヨ島」
- 山口県 山田和夫(宇部市)「立秋の青空」
- 徳島県 日下芳治(板野郡)「そば畑の朝」
- 福岡県 鐘ヶ江春雄(三浦郡)「干し柿」
- 熊本県 緒方昭夫(熊本市)「秋の舞」
- 草野政盛(鹿本郡)「初秋の高原」

入選 全部門共通 記念品(3千円相当)〈150名〉

- 北海道 山下賢司(札幌市)「落葉とお話」
- 馬場伸市(札幌市)「彩流」
- 野口勝明(札幌市)「晩秋の池」
- 岡村文人(帯広市)「流れる風景」
- 藤原輝也(上川郡)「落葉秋歌」
- 阿部孝志(江別市)「落葉黄彩」
- 古平文男(三笠市)「燃ゆる紅葉」
- 庄司伸康(西小樽市)「落ち葉の彩」
- 川西政博(旭川市)「鏡光」
- 宗山和夫(亀田郡)「秋陽」
- 藤澤義雄(名寄市)「寒い朝」
- 長橋勝美(根室市)「秋の阿寒川」
- 青森県 鹿内 豊(青森市)「流れ」
- 工藤雅巳(弘前市)「晩秋と虹」
- 太田 崇(南津軽郡)「終曲」
- 秋田県 松森秀忠(山本郡)「朝の鳥沼」
- 岩手県 堤内安男(盛岡市)「錦秋」
- 金沢耕二(紫波郡)「紅彩」
- 千田邦彦(紫波郡)「乗駒錦秋」
- 佐々木良一(紫波郡)「秋の参道」
- 高橋健三(岩手郡)「秋彩」
- 小坂富男(岩手郡)「秋の流れ」
- 清水和敏(東磐井郡)「森林」
- 宮城県 中島和治(古川市)「ツタ林」
- 瀧美 植(黒川郡)「小さい秋」
- 山形県 松 登(米沢市)「秋映」
- 大泉忠夫(米沢市)「秋流」
- 福山利子(米沢市)「琥珀の風」
- 石山正浩(米沢市)「落ち葉あそび」
- 富樫辰也(山形市)「星月夜」
- 田賀信之(酒田市)「一瞬の輝き」
- 佐々木吉治(酒田市)「晩秋雪化粧」
- 福島県 安藤一夫(福島市)「秋彩」
- 群馬県 松本耕司(太田市)「秋色」
- 高橋 剛(前橋市)「清流淡もみじ」
- 金子周二(勢多郡)「木立の中の紅葉」
- 高橋邦明(多野郡)「薄化粧」
- 埼玉県 樋口二郎(深谷市)「晩秋」
- 大沢 稔(深谷市)「秋の光景」
- 巻島秀男(久喜市)「色鮮やかに」
- 森 裕晃(上尾市)「水彩画」
- 桜井義憲(所沢市)「落葉の中に」
- 小林公夫(大里郡)「秋景」
- 小林英樹(児玉郡)「一ノ倉滝」
- 法利康清(金沢市)「若肌の秋彩」
- 宮 誠而(加賀市)「初雪の朝」
- 福井県 島邑 博(福井市)「薄氷の張る頃」
- 松浦 浩(武生市)「終宴」
- 伊藤邦夫(坂井郡)「爛熟の刈込池」
- 井上佳計(分倍寺市)「カラスウリとメジロ」
- 蓮井 治(中野区)「紅葉の地獄沼」
- 大倉 一(武蔵野市)「落葉の舞」
- 神奈川県 福田 伸(伊勢原市)「朝光に燃ゆる」
- 川井 孝(南足柄市)「魔法使いの絵」
- 山梨県 中川美浩(中巨摩郡)「晩秋の輝き」
- 沢登圭道(中巨摩郡)「晩秋の山頂」
- 長野県 小松 宏(松本市)「池に映える」
- 坂口清一(長野市)「落葉の頃」
- 塚原宣昌(長野市)「アイスツリー」
- 林部正彦(長野市)「雨上り」
- 柴本勝敏(須坂市)「光と影」
- 菅沼春彦(飯田市)「串柿」
- 安藤充一(下伊那郡)「落葉」
- 五味輝夫(茅野市)「晩秋戯れ」
- 土屋節子(小諸市)「秋の贈り物」
- 新潟県 羽下百合子(新潟市)「光彩のカラマ」
- 川合 潤(新潟市)「水面」
- 本間 勇(新潟市)「風情」
- 鈴木 知(船橋市)「秋そのもの」
- 石川県 福島健介(小松市)「天高し」
- 法利康清(金沢市)「若肌の秋彩」
- 宮 誠而(加賀市)「初雪の朝」
- 福井県 島邑 博(福井市)「薄氷の張る頃」
- 松浦 浩(武生市)「終宴」
- 伊藤邦夫(坂井郡)「爛熟の刈込池」
- 井上佳計(分倍寺市)「カラスウリとメジロ」
- 蓮井 治(中野区)「紅葉の地獄沼」
- 大倉 一(武蔵野市)「落葉の舞」
- 神奈川県 福田 伸(伊勢原市)「朝光に燃ゆる」
- 川井 孝(南足柄市)「魔法使いの絵」
- 愛知県 水野 毅(豊田市)「秋の四季桜」
- 沢登圭道(中巨摩郡)「晩秋の山頂」
- 博松真真(一宮市)「開田秋景」
- 杉野 靖(知立市)「秋空」
- 三重県 和 均(四日市市)「ヒクニック」
- 堀田 勉(鈴鹿市)「一輪」
- 佃 弘(鈴鹿市)「真赤な夕焼空」
- 中井幸太郎(三重郡)「秋天」
- 大屋秀敏(志摩郡)「森林」
- 滋賀県 桑原達夫(彦根市)「行く秋」
- 岡垣 進(栗太郡)「池面秋色」
- 伊藤 満(長浜市)「湖北の朝」
- 京都府 木村晋一(長岡京市)「秋香る」
- 柏原由雅(船場市)「秋色の嵐峡」
- 大阪府 石川良男(枚方市)「夜の花園」
- 井上賢一(富田市)「流れる秋」
- 安藤祥始(門真市)「葉の目は何色?」
- 浜田千都子(寝屋川市)「落日返照」
- 兵庫県 石井恵美子(明石市)「落葉の暈き」
- 嶋山武彦(篠山市)「秋化粧」
- 奈良県 北浦久伍(橿原市)「朝陽」
- 加藤茂樹(橿原市)「朝光、輝く」
- 森岡勝利(大和高田市)「黄葉」
- 栗原義孝(御所市)「かすむ夕景」
- 平谷寿一(吉野郡)「晩秋の朝」
- 和歌山県 中村みつる(橋本市)「道祖神の秋」
- 鳥取県 山崎國雄(境港市)「もみじ」
- 市川 誠(米子市)「輪舞」
- 島根県 多々田 均(福川郡)「鏡鑪の山」
- 田中康夫(松江市)「仲よ三人娘」
- 今岡紀子(松江市)「小さな秋」
- 岡山県 矢吹行雄(岡山市)「彩流(黄)」
- 大枝舞二(岡山市)「雨の朝」
- 能瀬清之(岡山市)「幻影」
- 花本賢吾(岡山市)「紅葉」
- 金谷 泉(岡山市)「秋景」
- 岡崎義昭(岡山市)「秋から冬へ」
- 金島主子(津山市)「秋のうたげ」
- 横野文男(真庭郡)「赤をまいて」
- 守屋恭平(松江市)「楳の輝き」
- 池葉須 稔夫(阿蘇郡)「土壁に秋の影」
- 広島県 加藤久雄(広島市)「風そよぐ」
- 秀浦 豊(広島市)「鹿と紅葉と」
- 山口県 東 道子(萩市)「ひなたぼっこ」
- 柏村晴男(小野田市)「晩秋の午後」
- 徳島県 笹田リョウ(徳島市)「Dance」
- 栗田一衛(徳島市)「柿の里」
- 椎野シゲ子(徳島市)「柿」
- 阿部啓三(徳島市)「白骨林の彩り」
- 鈴江光洋(板野郡)「瀧」
- 愛媛県 三秋政利(松山市)「高原の草むら」
- 相原直樹(松山市)「収穫だ」
- 中矢敏二(松山市)「朝日に照らされて」
- 石原龍子(西条市)「竹林に咲く」
- 藤原 寛(川之江市)「晩秋」
- 高知県 田中 稔(幡豆郡)「秋の夜」
- 竹森雅孝(香川郡)「落葉の舞」
- 福岡県 山崎英行(福岡市)「秋日」
- 長 吉秀(福岡市)「燃ゆる秋」
- 永露憲治(福岡市)「秋の流れ」
- 毛利高就(田川郡)「樹幹」
- 松尾 新(春日市)「落紅葉」
- 川野 嘉(春日市)「落葉」
- 村山繁美(柏屋郡)「ラブ」
- 長崎県 黒岩尚子(長崎市)「秋雲」
- 熊本県 緒方富雄(熊本市)「飯田丸、秋彩」
- 麻生なおみ(熊本市)「岩谷の秋」
- 大分県 甲斐俊一(大分市)「初秋の頃」
- 後藤龍成(日田市)「山頂の秋」
- 麻川尚良(中津市)「山里の柿」
- 深瀬正成(宇佐市)「落葉の紅」
- 宮崎県 宇都祐二(都城市)「落葉」
- 長崎県 角南俊文(長崎県松本市)「最後の葉」
- フィッシュアイレンズを使って紅葉に大接近し、空間描写を凝らしながら、秋の空気感を見事に抽出しています。
- 「雨に散る」萩原秀政(岡山県倉敷市)「雨に散った紅葉の美しさや、朝の輝きの美しさを、上手に捉えた力量を評価しました。日本の秋を満喫させてくれる作品です。」
- 「月夜に映える」田中隆文(福岡県八女市)「月明かりの逆光でススキを撮るといのは、技術的に非常に難しいことで、それにあえて挑戦され、成功した大胆な作品です。」

キタムラホームページ www.kitamura.co.jp ※上位入賞作品は、キタムラホームページ上でもご覧いただけます。

第8回 全国 秋の彩 フォトコンテスト 入賞作品発表!

第8回「全国秋の彩フォトコンテスト」に、今年もたくさんのご応募ありがとうございました。約15,000点の応募総数の中から見事に入賞された方々の作品を、ここに発表させていただきます。

応募総数 約15,000点

主催: カメラのキタムラ
協賛: 富士写真フイルム株式会社
キヤノン販売(株)、ミノルタカメラ販売(株)、ニコンカメラ販売(株)、ペンタックス販売(株)、オリンパス販売(株)、京セラ(株)、(株)リコー、(株)シグマ、(株)タムロン、キナー光学(株)

総評: キタムラの「全国秋の彩フォトコンテスト」も今回で8回を数え、伝統の重みが増してきたように思います。今年は昨年よりも応募点数がさらに増え、こうしたアマチュア対象のフォトコンテストの場合、質は量に比例しますから、高水準の作品が集まりました。その結果でもありますが、選外の作品にも惜しいものも多くあったことが残念です。今回の上位入賞作品には、被写体を絞り込んでクロスアップした、詩的な作品が多くなりましたが、写真は時代とともに表現が変化してゆくものですから、この傾向は撮影者が、撮影対象を細かな部分までしっかりと眺めようとする時代意識の現れではないかと思えます。このため、作者の被写体に対するきめ細やかな観察力が反映された作品が多く見られ、これが今回の「秋の彩フォトコンテスト」の、今までになかった傾向になりました。また、最近では特に関東の作品が多くなり、作品の質も向上してきましたので、撮影技術の競い合いも激しくなり、この先も、ますます楽しみなフォトコンテストです。次回も皆さんの力作が多数応募されることを期待しております。



「Happy Wedding」
綱島 誠 (茨城県水戸市)

寸評: 森の中でキノコが、まるで結婚をするかのように寄り添っている。そのことに思いをさせて、よいタイトルを考えられたと思います。キノコのデリケートな質感を爽やかに捉え、小さな世界でありながら、イメージが大きく広がってゆく、豊かで楽しい作品です。



特選 賞金20万円と楯

リバーサルプリント 紅葉の部〈2名〉



「怒迎の紅葉」坂神宗之助(長野県松本市) 紅葉の一葉一葉をシャープに捉え、壁や窓ガラスの質感のそれぞれがお互いの質感を高め合い、魅力的な作品に仕上がっています。

「秋の贈りもの」藤井富雄(北海道釧路市) エゾリスのヤマドウを撮ったときの満足感がよく出ています。被写体を細やかに観察しているからこそ撮られた作品です。

「流れ」山口芳洋(福岡県春日市) 風に揺れている紅葉や水面に映りこんだ紅葉など、様々な紅葉が写し込まれていて、色彩的にも美しい、写真ならではの面白い作品です。

リバーサルプリント 一般の部〈2名〉



「黄蝶の夢」森田道昭(福岡県北九州市) ツル草を対角線に扱うことによって動きを、ソフトウェアでムードを、ライティングで輝きを感じさせた、秋の瞬間を捉えている、美しい作品です。

ネガカラープリント 紅葉の部〈2名〉



「最後の葉」角南俊文(長崎県松本市) 月明かりの逆光でススキを撮るといのは、技術的に非常に難しいことで、それにあえて挑戦され、成功した大胆な作品です。

ネガカラープリント 一般の部〈2名〉



「月夜に映える」田中隆文(福岡県八女市) 月明かりの逆光でススキを撮るといのは、技術的に非常に難しいことで、それにあえて挑戦され、成功した大胆な作品です。

準特選 賞金10万円と楯

リバーサルプリント・紅葉の部〈4名〉



「赤い美 金子栄之」(大阪府箕面市) 「秋光に輝く」(岡山県岡山市) 「秋の贈り物」(北海道釧路市) エゾリスのヤマドウを撮ったときの満足感がよく出ています。被写体を細やかに観察しているからこそ撮られた作品です。

リバーサルプリント・一般の部〈4名〉



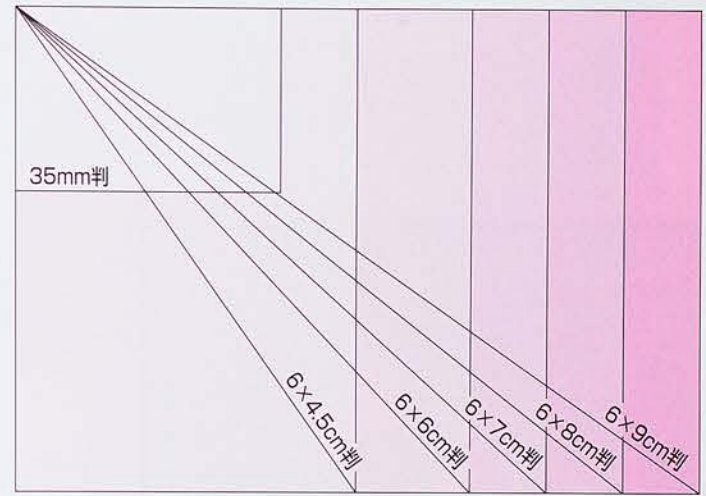
「大はしゃぎ」(東京都羽村市) 「風に舞う」(熊本県八代市) 「秋の香り」(秋田県秋田市) 「生命」(能登正俊(東京都府中市))

中判カメラの魅力を探る

フィルムフォーマット比較

フォーマット	画面サイズ	対角線長	標準レンズ	画面比率	対35mm倍率
35 mm	24×36	43.3 mm	50 mm	1 : 1.5	1
6×4.5 cm	45×60	75.0 mm	80 mm	1 : 1.33	3.12 倍
6×6 cm	60×60	84.9 mm	90 mm	1 : 1	4.16 倍
6×7 cm	60×70	92.2 mm	100 mm	1 : 1.17	4.86 倍
6×8 cm	60×76	96.8 mm	110 mm	1 : 1.27	5.55 倍
6×9 cm	60×90	108.2 mm	115 mm	1 : 1.5	6.25 倍

※画面サイズはフィルムサイズ。実際の画面サイズ、標準レンズは、一般的な数値でメーカーによって異なります。



長焦点レンズを使用するから被写体界深度が浅くなる

プロローニフィルムの撮影枚数

タイプ	120	200
6×4.5	15枚	30枚
6×6	12枚	24枚
6×7	10枚	20枚
6×8	9枚	18枚
6×9	8枚	16枚

※撮影枚数はメーカーによって異なります。

大きいフォーマットの活用がポイント

中判カメラを使用している人の中には、フィルム面積が大きいことから、安易に「トリミングすればよい」と考え、縦横比率を無視するケースもありますが、それぞれのフォーマットをより有効に活かすことが、中判カメラを使用するメリットがあります。というのも、余計なものを取り除く画面構成をしていたのでは、フィルムの有効面積を犠牲にすることになるからです。トリミングは邪道とまではいいませんが、中判を使うメリットがフィルムの大きさにあるのですから、これをフルに活用する考え方に必然性があると言えるでしょう。

ここに来て中判カメラの人氣が高まってきた要因のひとつとして、35ミリカメラと同様の使い勝手の良さ、付属品などシステムのにもラインアップされてきたことが挙げられます。特に645タイプが軽量化・携帯性などから注目されています。

●一眼レフタイプ

中判カメラの一眼レフタイプにはレン

に威力を発揮します。さらに機種によっては、アダプターを用いて35ミリフィルムをセットし、本格的なパノラマ撮影ができるなど、多彩な機種が出ています。

●その他

プロローニフィルムを使用するという点では、二眼レフカメラ、蛇腹カメラもありです。

●画面サイズが豊富な中判カメラ

撮影するフィルム画面の大きさもさることながら、6×4.5cmから6×9cmまでの画面の縦横比は正方形の1:1もあれば、1:1.5の横長もあって、バラエティに富んでいます。このことは120や220ともに、画面サイズが異なることで、撮れる枚数も違ってきます。また同じ645でもメーカーによって撮れる枚数が異なっている場合もあります。加えて120には裏紙にナンバリングされていますが220にはありません。フィルム送り自動巻き止め装置がないカメラ(ホルダー)では220が使えないことになりま

目的に応じて自分に適応したフォーマットを

選択編

フォーカルプレーン式はシャッターによってフィルム面が隠れており、そうした心配もないし、レンズはシャッターの組み込みもなくシンプルで交換も容易です。また構造上、高速シャッ

ズシャッター式とフォーカルプレーン式があります。レンズシャッター式はレンズにシャッターが組み込まれているのに対して、フォーカルプレーン式はカメラ側にあります。レンズシャッター式は電子化されてきたことで、着脱操作もやさしくなっていますが、それでも一応の手順が必要です。レンズを外すとファインダーなどからの光の影響を受けますので、遮光しなければならぬなど複雑な面があります。



ペンタックス645N



コンタックス645



フジGA645Zi



マミヤ645AF



ブロニカETRSi



フジGA645Wi

●距離計連動(レンジファインダー)タイプ

手持ちが容易で、レンズ

ターも得られやすくなっています。しかし、ストロボ同調という点では全速同調のレンジシャッター式が圧倒的に有利です。ポートレートなど日中シンクロが多い人にはレンジシャッター式が有効です。

交換タイプと固定タイプがあります。645サイズから6×9サイズまであります。645サイズでは固定のズームレンズ付きも開発され、フルオートで35ミリのコンパクトカメラと同様に気軽に撮影できるものもあ

ります。風景スナップ

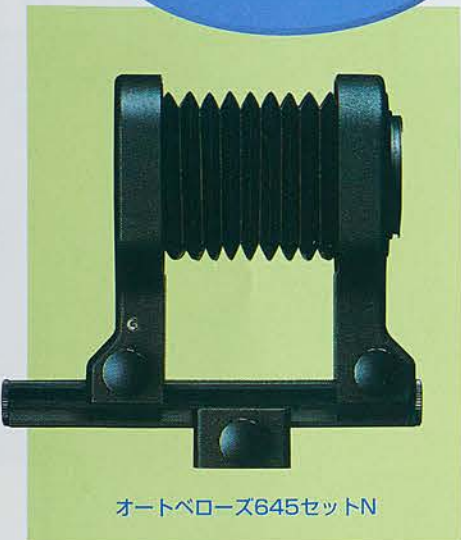
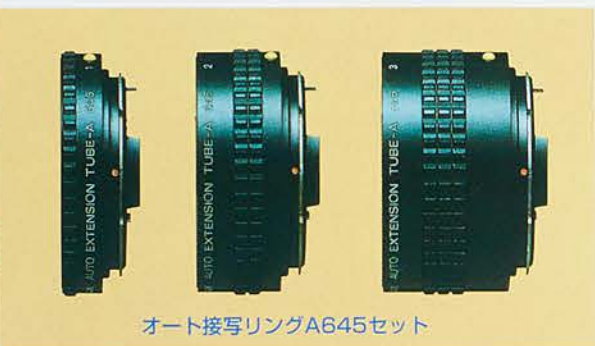
中判カメラの魅力を探る

中判は画面サイズが大きいだけに、35ミリ判と同じ画角を求める場合、レンズの焦点距離が長くなり、その分、被写界深度が浅くなります。深度を求めるには絞り込まなければならず、絞り込めば込むほど、シャッター速度が遅くなりますので、ブレ防止の上からも三脚は必需品といえるでしょう。また、三脚使用以上はシャッターレリーズも用意する方がベターです。

中判カメラで忘れてならないのが三脚です。携帯性に優れ、手持ち撮影も容易になったとはいえ、よりシャープな画質を得るためには三脚は必需品です。機種によって重量が異なりますので、カメラにあった安定性のある三脚を使用してください。三脚を使えば、被写体のピンント合わせも容易です。

●三脚は必需品

ストロボもほとんどのメーカーで専用が開発され、35ミリ一眼レフと比較しても遜色ない機能が揃っています。こうしたレンズを含めた周辺機器からは、撮影の応用も広く、利便性が高まっています。



ペンタックス645に見るレンズ・用品群



ハッセルブラッド501CM



こうしたことも配慮が必要で、このようにカメラによって画面サイズが異なりますので、自分にあったサイズを見つけ出すことも中判カメラにステップアップするひとつのポイントになるでしょう。

代表的な中判 6×6, 6×7, 6×9カメラ

●豊富な交換レンズ、用品群

ところで、中判カメラと35ミリカメラとの操作上の大きな相違点は、フィルム装填にあります。これができなければ、当然、撮影できないこととなります。最近、富士フィルムが開発した簡易セットリングのものもありますが、現行製品のほとんどがフィルム巻き取り側のスプーラーを移動させ、巻紙を表面にしてセットします。またローニーフィルムには短寸の120と長寸の220(120の2

●中判カメラの選び方
画角の違いを除けば、中判一眼レフカメラは機能的には35ミリ一眼レフカメラとほぼ変わりありません。レンズファインダー式のオートフォーカスカメラは、35ミリコンパクトカメラと同様の使い方でも、誰でも撮影できます。シャッターを押すだけで、粒子の細かなプリントが得られます。中判カメラは決して難しい

大きな画面サイズだけを選べばよいことになりませんが、一眼レフタイプか、レンジ式ファインダータイプか、さらにフィルムバック交換タイプか否かで大きく左右するシステム構成、機動性、個人感覚で異なるカメラのフィット性などが検討項目になるでしょう。

また用品類も例えば、接写用をとってもオートベローズやオート接写リング、クローズアップレンズなどがあるほか、

●中判カメラの選び方
画角の違いを除けば、中判一眼レフカメラは機能的には35ミリ一眼レフカメラとほぼ変わりありません。レンズファインダー式のオートフォーカスカメラは、35ミリコンパクトカメラと同様の使い方でも、誰でも撮影できます。シャッターを押すだけで、粒子の細かなプリントが得られます。中判カメラは決して難しい

大きな画面サイズだけを選べばよいことになりませんが、一眼レフタイプか、レンジ式ファインダータイプか、さらにフィルムバック交換タイプか否かで大きく左右するシステム構成、機動性、個人感覚で異なるカメラのフィット性などが検討項目になるでしょう。

また用品類も例えば、接写用をとってもオートベローズやオート接写リング、クローズアップレンズなどがあるほか、

カメラではありませ
ん。中判カメラの愛
用者から「35ミリで
悩んでいた画面構成
や描写表現が中判カ
メラを使ったことで
解消した」話もしば
しば聞かれます。35
ミリで構図がピット
リこない方には中判
カメラがお勧めです。
カメラ選びの
ポイント
は、画質だ
けを考え
るのであれば
大きな画面サイズだけを選べ
ばよいことになりませんが、一
眼レフタイプか、レンジ式ファ
インダータイプか、さらにフィ
ルムバック交換タイプか否かで大きく左
右するシステム構成、機動性、個人感覚
で異なるカメラのフィット性などが検討
項目になるでしょう。

中判カメラは35ミリカメラと比較して
形態がバラエティ富んでいます。それだ
けを考慮
るのであれば
大きな画面サイズだけを選べ
ばよいことになりませんが、一
眼レフタイプか、レンジ式ファ
インダータイプか、さらにフィ
ルムバック交換タイプか否かで大きく左
右するシステム構成、機動性、個人感覚
で異なるカメラのフィット性などが検討
項目になるでしょう。

また用品類も例えば、接写用をとつて
もオートベローズやオート接写リング、
クローズアップレンズなどがあるほか、

1 スタジオでジックリ撮るケースが多
ければフィルムバック交換式。
2 外に出て、スナップ、風景を面倒な操
作なく撮りたいのなら手持ちが容易な
レンジ式ファインダーのオートフォーカ
スカメラ。
3 撮影目的が多岐にわたるのならばレン
ズの種類が揃い、システムマッチな一眼
レフタイプ。
大まかですが、この3点に絞られてき
ます。最終的には用途に応じて自分にあ
ったカメラになります。

一眼レフタ
イプの中判
カメラは各
社とも、レ
ンズを豊富
に取り揃え
ていますが、
特に645につ
いては35ミリ
一眼レフに匹敵する
ほどバラエティに富
んでいます。最近はず
ームレンズも増えていま
すので、35ミリ一眼レフ感覚での撮影が
楽しめます。

ニッコールクラブ高知西支部

- 設立 1994年6月1日
- 会員数 22名(代表・中島建蔵)
- 活動 隔月(奇数月)毎の会報の発行
会員の要請による不定期の撮影会、展示会の開催支援
- 場所 高知県高知市

ニッコールクラブの一支部として活動していますが、大人の趣味として、お互いを尊重し、持てざる所をフォローし合っている特異なクラブです。

会員には、自他共に認めるニコンカメラのコレクターである副支部長をはじめ、顕微鏡を使ってミクロの世界を撮影されている会員、イエメンの砂漠を四輪駆動車に乗って一昼夜も走ってきた、海外を撮影を得意としている女性会員、地道なドキュメントを何年も追って写真集にされた会員、建築家のコルビジェの作品を追ってヨーロッパに撮影に出かけ、個展を開かれた会員などなど、ベテランから初めて間もない方まで、写真との関わりがユニークな方が集まっています。

会員個展などのPR、複数会員による企画展などが表立った活動ですが、今年は「牧野富太郎記念館」での支部写真展も盛況に終わることができ、これからも時々世間様の目に触れることができるクラブでありたいと思っています。

ニッコールクラブ高知西支部



横島正彦氏の作品



「高知の被爆者」岡村啓佐氏のドキュメント写真集



牧野富太郎記念館での支部写真展覧会

写団光風

- 設立 1998年1月18日
- 会員数 30名(代表・森 秀輔)
- 活動 毎月第4日曜日の例会、年2回の撮影会、年1回の写真展
市報「広報ひた」表紙写真提供
- 場所 大分県日田市

当会は21世紀へ向けて新しい「光と風」を求め、写真技術の向上と、会員相互の親睦をはかると共に、地域文化の発展に寄与することを目的に発会しました。

昨年は第1回の全会員による「写団光風展」を開催し、70点に及ぶ出品点数で好評を得ました。また、月例会の出品数も100点を越えることが度々で、やむなく制限を設けている状況です。月例会での作品の順位付けは出席者全員の採点によって決定しており、これによって年間得点を競い、納会忘年会時に1位～10位と最優秀賞を表彰して、お互いのレベルアップをはかっています。

県美術展、二科展、国画展など各種コンテストにも出品し、入選、入賞に一喜一憂しながら腕を磨いております。



武内 誠氏の作品



高村美年氏の作品



西邑伊三郎氏の作品

町田市人材センターカメラ同好会

- 設立 1994年6月
- 会員数 33名(代表・金井敏明)
- 活動 毎月1回の撮影会、年1回の撮影旅行、年4回の定例会
年1回の展示会
- 場所 東京都町田市

平成6年に当初は6名で発足しましたが、今では会員も33名にまで増えました。毎年、年間行事計画書を作成し、月1回の撮影会と年1回の撮影旅行を実施しております。また、年4回の定例会で技術を錬磨し、各方面の展示会を見聞してお互いの意見交換をするなど、楽しく勉強をしています。



写真はどれも大根竹次郎氏作品

写真集団ぴんぼけ

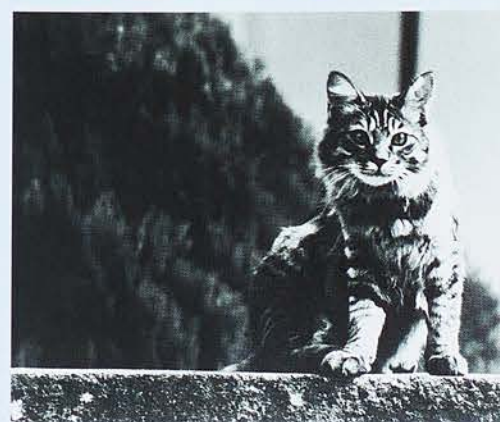
- 設立 1986年12月30日
- 会員数 14名(代表・中村茂雄)
- 活動 隔月に例会、及び撮影会・写真展開催など
- 場所 宮城県仙台市

会発足以来、当クラブは宮城県の写真団体の中心として、宮城県写真連盟の事務局を担当、積極的に活動しております。

会員の一人一人が個展を開催できるように、個別の写真指導を心がけ、会員の佐藤氏は県展において1997年の宮城県知事賞に続き、99年には県教育長賞を受賞しました。また、今年からはクラブの新たな試み

として、会員各自がテーマ別で作品を作ろうと頑張っています。

今後も写真の持つ可能性を再発見する楽しみを、会員とともに学んでいきたいと思っています。



写真はどれも中村茂雄氏の作品



ボーイのまま。

ときどき、いる。少年のような眼をしたオトナ。プリミティブな感性と精神を守りつづけるがら生きているオトナ。彼には、少年にしか見えないものが、いまだに見えている。

キヤノンオートボーイが誕生して、20年。

時代が移り変わるなか、オートボーイには守りつづけてきた1つのエッセンスがある。

それは、撮る喜びと持つ楽しさをきわめてこそカメラであるという、キヤノンのこだわり。1999年秋、新オートボーイ完成。

ひととき鮮明な映像を生みだすための非球面レンズを採用した、高画質3.2倍ズーム。好みの撮影スタイルに合わせて自由な設定ができる、新搭載パーソナルモードなど。先進の才能を、黒とシルバーを基調とした精悍なフォルムに凝縮。

オートボーイ不変のエッセンスから生まれた、コンパクトカメラの新しい進化がここにあり。キヤノンオートボーイ120誕生。



Canon Autoboy 120

新登場

コンパクトなフォルムに先進の才能を凝縮。

- ① 小型・高品位な金属外装・ネオクラシカルデザイン。
- ② GMo非球面レンズ採用、高画質38-120mm 3.2倍ズーム。
- ③ パーソナルモードを新設したベストショットダイヤル。
- ④ ハイブリッド・3点測距デュアルAiAFをはじめとする高機能。
- ⑤ ±1.5EVのマニュアル露出補正。
- ⑥ 視度調節機構付き(-3~0dpt.)ファインダー。

コンパクトカメラの最高品質へ。キヤノンオートボーイ120誕生。

写真はもっと楽しく、豊かになる。キヤノンクラブ



キヤノンクラブ入会のご案内

キヤノンクラブは、写真の好きな方、もっと写真を楽しみたい方の集まりです。毎月お届けするクラブ誌「キヤノンサークル」は、プロの作品を紹介する巻頭特集をはじめ、実践的な撮影テクニックを学べる「EOS学園」、月例コンテスト、キヤノン製品の最新情報や技術レポートなど、楽しい読みものを満載しています。また年に一度の集大成として写真年鑑「キヤノンアニュアル」を発行。さらに、プロ写真家とともに行く撮影ツアーや写真教室も開催し、豊かなフォトライフを提案しています。どうぞお気軽にご入会ください。

●お問い合わせは、キヤノンクラブ事務局まで。詳しい資料をお送りいたします。【入会金】1,000円 【年会費】8,000円(税込)
キヤノン販売株式会社 キヤノンクラブ事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9 TEL.03-3571-7388 FAX.03-3573-7825(土・日・祝日は休ませていただいております。)

KITAMURA INFORMATION

海外撮影ツアーを開催いたします! ぶるってで参加ください。

海を越えて腕試しにいきませんか。海外の素晴らしい撮影スポットに、皆様をご案内いたします。講師の先生も同行。撮影三昧で旅行と写真の醍醐味を存分に味わってください。

海外撮影ツアースケジュール

中国・ウルムチシルクロード 5泊6日
4/15~4/20 成田発 **248,000円**

スペインアンダルシア地方
6月上旬 関空発

ドイツ・スイス 古城街道・ロマンチック街道 8泊9日
6/30~7/8 成田発 **298,000円**

中国・内モンゴル大草原と遊牧民
8月上旬 関空発

ベルギー・オランダ 華麗な珠玉の街・花大国 7泊8日
8/30~9/6 成田発 **308,000円**

カナダ・東海岸メイプル街道の紅葉
9月下旬 関空発

アメリカ大西部 雄大な自然美・神々の原風景 8泊9日
9/9~9/17 成田発 **348,000円**

詳しくはお電話でお問い合わせください
0120-81-6334 株式会社ラボネットワーク
受付時間/月~金 AM9:00~PM5:00/土・日・祝祭日は除く
撮影ツアー担当:川北・牧村

桜井始先生がご自身の撮影テクニックを紹介した本を出版!

カメラのキタムラで、いつも写真教室などで講師をお願いしている桜井始先生が、このたび「感性を磨く・光と色に強くなる写真術」を出版されました。桜井先生の撮影テクニックが、詳細に、わかりやすく書かれています。読者の皆さんも、ぜひ一度、書店で手にとってご覧になってみてください。

価格:2,000円(税別)

全国の書店でお取扱中!



フォトGazoショップオープン!!



素敵なポストカード、グリーティングカードをつくりませんか?

オフィスやお部屋に素敵なフォトを飾りませんか?

フォト画像ダウンロード販売、フレーム付きフォト販売を始めました。

<http://gazo.kitamura.co.jp>

にアクセスしてください。

お手持ちのカメラやレンズを、

高価下取り・買い取り

詳しくは、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

いたします。

編集後記

今回出版される屋久島の写真集に、三好先生が常ならぬ力を入れていらっしゃるの、取材をしている編集部にも伝わってきました。三好先生は以前より、「写真を撮るときは、まず自分の気持ちから」とおっしゃっています。屋久島という最高の楽園に身を置いて、「仙人になったような気分」で、先生のファインダーは、どんな素晴らしい作品を私たちに見せてくれるのでしょうか。今から楽しみでなりません。自分の気持ちから入るといことは春の写真にも言えること。春のウキウキとした、気持ちのいい写真を撮るには、まず自分が春の楽しさにひたることが近道です。やわらかな日差しが心地よいこの季節、皆さんもカメラを片手に、自分を楽しませに出かけてみてはいかがでしょうか。これは、と思える作品が撮れたら、ふるって「第8回春の花フォトコンテスト」にご応募ください。

今回の「路上観察」は建築史家の藤森氏にご登場いただきました。氏は執筆の方でも才能を発揮されています。記事中でも紹介しました「建築探偵の冒険 東京篇」には、「建築探偵」として街中を観察して歩く際の注意点や心構えが、楽しく書かれていますが、これはそのまま「路上観察」にも当てはまること。本屋さんでこの本を見かけたら、一度目を通されてみてください。ユーモア溢れる藤森氏の文章を読み進めるうちに、自分もやってみようと思われるに違いありません。皆さんのフォトライフが、より豊かなものとなりますように、キタムラはいつもそのことを願っています。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル



答え=○○○○○○○○
ヒント:喜びあり、涙あり...

- 童謡「七つの子」に出てくる鳥。
- 物事をぬかりなく行う様子を「○○がない」などと言いますね。
- 主君の一大事とあらば、○○参じまするうー!!
- 「しっかりしている」とか「間違いない」という意味です。
- ヒゲを剃るにはコレが必要。
- 「乳牛」の事を英語で言うとは?
- 漆塗りの器をこう言います。
- 春になると、お花畑をヒラヒラと...
- 神様にお供えする酒を「お○○」と言います。
- 地域の人口が少なくなる事。
- 服の下に着るもの。
- 「ピーナッツ」の別名です。
- その時々で変動する値段。
- 鳥類最古の祖先と言われる化石動物。
- 法を犯して密かに罪をする事。
- 「危うい状態」をこう言います。
- 寅さんは、帝釈天でつかったそうです。

問題: クロスワードに答えて、A~Gのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先: 〒222-0033 横浜市長北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係
締め切り: 5月31日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.30) 解答とご当選者 解答:「クリヒロイ」
齊藤智美(北海道)、小林茂(北海道)、鶴田勇雄(東京都)、岸本久子(神奈川県)、木崎英太郎(群馬県)、植松昌也(山梨県)、海野立美(静岡県)、西村伸一(新潟県)、藤村敦子(富山県)、吉谷嘉太郎(石川県)、山本浩嗣(愛知県)、西村靖(滋賀県)、桜尾司(京都府)、岡矢直美(奈良県)、江頭重行(山口県)、菅野生也(兵庫県)、井戸垣里歌子(鳥取県)、野坂正子(鳥取県)、末沢隆(岡山県)、野川直美(広島県)、諏訪博明(広島県)、吉賀誠(山口県)、鶴見文夫(香川県)、藤田一男(香川県)、小坂一雄(徳島県)、伊藤明(愛媛県)、中尾次郎(北九州)、高石忠行(長崎県)、熊谷憲治(長崎県)、海口美恵子(大分県) 敬称略

撮ったら、すぐカード。

フォトライフ 四季

Vol.32

SPRING

平成12年3月11日発行 発行部数22万



21世紀インスタントカメラ誕生



instax mini

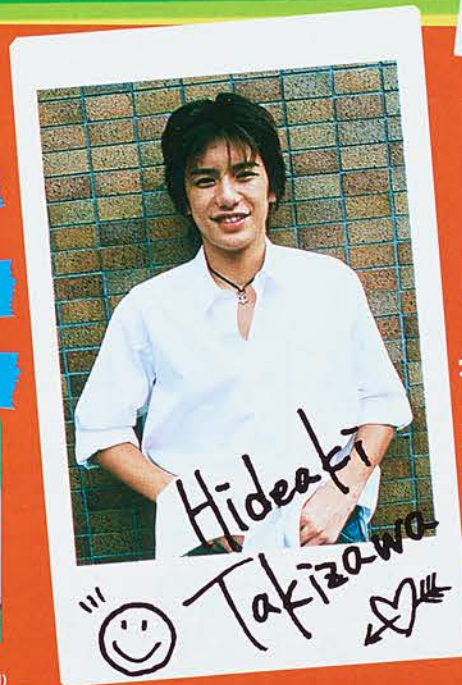


フジフィルム インスタックス ミニ10 チェキ
メーカー希望小売価格 10,000円 (税別)

カバンにすっぽり
コンパクトボディ
定額入札にピッタリ
カードサイズ写真
フィルムも安く
チェキ!



インスタックスミニ フィルム
1パック/10枚撮り 700円 (税別)
2パック/10枚撮り×2 1,250円 (税別)



カードサイズ写真(原寸大)

